

LINE  
公式アカウント

instagram

## すみれ

2021年  
3/26(金)

Vol.94 四国医療福祉専門学校 NEWS

学校新聞編集委員会

香川県高松市上之町2丁目12番30号

TEL: 087-867-7676 mail:hope@shikoku-if.ac.jp

◇バックナンバーはホームページ上で閲覧可能です。

## 第21回卒業式を挙行 「挨拶」「感謝」「笑顔」を大切に医療・福祉の世界へ羽ばたく!

3月12日(金)本校にて第21回卒業式が挙行された。卒業生たちは新型コロナウイルス感染拡大により、さまざまな制約を受ける中、努力を重ねてこの日を迎え、笑顔を見せた。

森校長先生は式辞の中で「あなたでなければ出来ない仕事、そしてあなたの方の出来る仕事は社会の一隅を照らすことにつながります。本校での学びを基本に今後も研鑽を積み、本校の教育目標に掲げた「挨拶」「感謝」「笑顔」を大切に、誇りを持って活躍されることを願います」とはなむけの言葉を贈った。

続いて卒業生代表の伊藤ひかりさん(介護福祉学科)は謝辞の中で「本校の教育目標を忘れず、さらに専門知識や技術を身につけ信頼される社会人を目指してまいります」と決意を語った。

なお、臨床工学学科卒業生については、今年度卒業式直前の7日(日)に大阪府にて国家試験を受験した為、新型コロナウイルス感染防止対策の観点からリモート参加とし、2週間を経過した22日(月)に卒業証書伝達式を執り行い、全員が無事に卒業証書を受け取った。



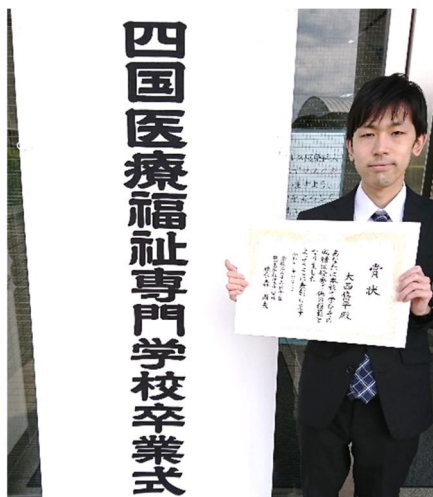
式辞を述べる森校長先生(上)  
喜びの表情を見せる卒業生たち(下)



## 校長賞受賞 喜びの声

臨床工学学科 大西 悠平さん

『このような賞をいただき、とても光栄に思います。自分の力だけでは受賞出来なかったと思います。今まで先生方、友人たちと一緒に学び、支えてもらったからだと感じています。今後は臨床工学技士として患者様の為に貢献し、寄り添うことが出来るように、より一層努力していきたいと思っています。ありがとうございました』



賞名	学科	名前
校長賞	臨床工学学科	大西 悠平 さん
卒業証書授与代表	介護福祉学科	片山 彩良 さん
	医療事務学科	岡上 真子 さん
	臨床工学学科	宮崎 梨々華 さん
職業教育・キャリア教育財団理事長賞	介護福祉学科	石田 彩乃 さん
	医療事務学科	総谷 楓来 さん
	臨床工学学科	東 信太郎 さん
日本介護福祉士養成施設協会会長賞	介護福祉学科	伊藤 ひかり さん
レクリエーション・インストラクター課程認定校 優秀学生	介護福祉学科	松本 拓也 さん
日本医療教育財団理事長賞	医療事務学科	小松原 紗羽 さん
		大山 紗英 さん
日本臨床工学技士会理事長奨励賞	臨床工学学科	筒井 ゆう さん
日本臨床工学技士教育施設協議会代表理事賞	臨床工学学科	谷澤 大輝 さん
皆勤賞	医療事務学科	寒川 美月 さん
		丸岡 聖奈 さん
	臨床工学学科	北村 周大 さん
		島田 拓海 さん
		筒井 ゆう さん
		磊鍋 香織 さん
精勤賞	介護福祉学科	谷原 希代香 さん
	臨床工学学科	大西 悠平 さん

## 高等学校内で出前授業を開催 点字への理解を深める

介護  
福祉

1月14日(木)香川県立丸亀城西高校(丸亀市)にて3年生15名を対象に出前授業を行った。

今回は視覚障がい者の方々にとって必要不可欠な「点字」をテーマに授業を行い、私たちが生活する身近な環境にも点字が存在することを伝えた。その後、点字の読み書きを通し、福祉に興味を示してもらえるように授業展開を行った。

また、当日は丸亀城西高校出身で、本校介護福祉学科卒業後、現在丸亀市内の福祉施設で勤務する石川 あかねさんにも協力していただき、介護現場における現在の仕事内容を説明した後に、後輩たちにエールを送った。



点字について説明する中岡先生と石川さん

## 国家試験に挑戦 2年間の学習成果を発揮

介護  
福祉

1月31日(日)第33回介護福祉士国家試験が英明高校(高松市)など全国各地で行われ、2年生が受験した。



担任の中岡先生中心に合格を誓う学生たち

国家試験では125問出題され、5つの選択肢から1つを回答するものとなっている。合格条件は約6割程度となっており、75点が合否の目安である。学生と教員は2年間の集大成である国家試験合格に向け、一丸となって試験対策に取り組んできた。そして本番ではこの成果を悔いなく出し切り、受験を終えた。

## 卒業生による特別講義を開催 精神障がい者への支援と介護技術を学ぶ

介護  
福祉

1月25日(月)・29日(金)・2月3日(水)の3日間 にわたり、本校卒業生で、現在は精神保健福祉士として活躍されている天満 照美先生による特別講義が1年生に向けて行われた。

初日は「精神障害」の領域に関する内容で、特に統合失調症について講義を受けた。2日目は事例をもとにグループで話し合い、課題・生活支援・福祉サービスの利用について検討した。3日目は、精神疾患を患っている方にも来校いただき、学生時代に発症してからの闘病中の経験談や精神疾患への理解を深める為の講演活動について語っていただいた。



講義を行う天満先生

受講した学生からは、「統合失調症に対するイメージが変わり、どのように関わっていけば良いか少し理解することができた」などの感想が聞かれた。

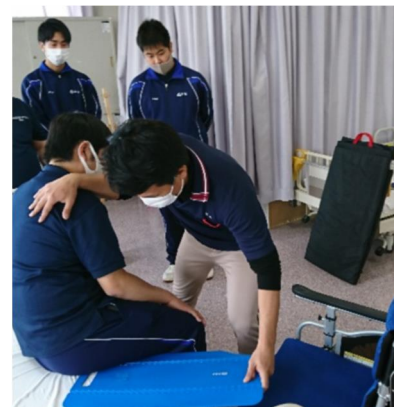
講義の最後に天満先生からは「誰でも素因は持っておりこの疾患になる可能性があること」、「早期発見・早期治療が必要であること」、そして「精神疾患について偏見を持たないで欲しい」と熱い思いが語られ、現場の最前線で活躍される先輩の貴重な講義となった。

続いて2月1日(月)に特別養護老人ホーム絹島荘(東かがわ市)で勤務される卒業生2名の協力により、2年生を対象に実践的な介護技術について教えていただいた。

この授業は、就職間近の2年生に、現場で行われている援助技術を習得すること、また利用者様

のことを第一に考えると共に自分自身の身体も大切にしながら、介護する技術を身に付ける目的で行われた。

説明を聞いた後に、ベッドを活用し、指導を受けながら実習が進められた。期待と同時に不安も抱える学生たちにとっては、先輩方からの貴重なアドバイスは何よりも心強いものとなった。



介護現場で実践されている介護技術を学んだ

## 小学生が障害者福祉に触れる 「福祉のとびら」事業を開催

介護  
福祉

2月15日(月)香川県主催「福祉のとびら」事業としての出前授業を綾川町立滝宮小学校で行った。

この事業は将来を支える世代に向けて福祉に興味を持ってもらえるように、香川県下の小・中学校に介護福祉士養成校の教員や卒業生が訪れて体験授業を開催しているものである。



白内障の体験をする児童

今回は、本校教員2名と在校生2名が訪問し介護の仕事内容について説明した後に、白内障体験の授業を行った。

授業を終えた児童からは、「介護とはお年寄りと一緒にいるだけでも、介護になるんだということを学んだ」とか「白内障体験をしてみて、色塗りが上手くできず、お年寄りは色の判断ができず大変な思いで生活をしているのだとわかり、これからは、おじいちゃんやおばあちゃんにやさしく接していきたい」などの感想をいただき、福祉に対し興味を持てる体験を提供することが出来た。

## 国家試験を受験 5年連続全員合格を目指して

臨床  
工学

3月7日(日)臨床工学技士国家試験が大和大学(大阪府)など全国4会場で行われ、3年生が受験した。

国家試験では180問が出題され、5つの選択肢の中から1つを回答し、合格点は108点となっている。学生たちは11月頃から本格的な国家試験対策を開始し、全国規模で開催されたものも含めて、ほぼ毎週にわたり模擬試験に取り組んできた。

試験の前々日から大阪入りしてコンディションを整え、試験当日は、試験開始の約1時間30分前に会場へ到着し、学生たちは、やや緊張した面持ちで試験に臨んだ。

試験終了後は無事に試験を終え、これまでの学習成果を悔いなく発揮したことに安堵する表情を浮かべ、帰路に付いた。

## 1年間で8つの検定試験合格 学生たちの努力が大きな成果に

医療  
事務



秘書検定の合格証を手に写真に納まる学生たち

1年生は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、検定試験が例年と異なるスケジュール・方法で実施され、連続受験となる過密日程の中、以下のような結果を達成した。

○1月15日(金)「電卓技能検定試験」過去最高の段位(7段)の合格者。

○1月16日(土)「Excel表計算処理技能認定試験」7年連続の全員合格を達成。

○2月6日(土)秘書技能検定3級全員合格を達成。(社会人としての一般常識を問われるもので、理論と実技で構成されており幅広い知識が問われる)今年6月に受験予定の2級試験に向けて弾みをつけた。

また1月22日(金)の「医療事務管理士技能認定試験」(診療録内容を見て、外来・入院それぞれの診療報酬請求書を正確に作成するもの)や2月28日(日)の「日商簿記検定試験」においては、前回試験で惜しくも不合格になっていた学生も再受験の結果、全員が合格した。

特に1月中旬から2月末までの約1ヶ月半は、多くの検定試験が実施され、学生たちは協力しながら学び、大きな成果を得た。入学後1年間で8つの試験に全員合格したことは、大きな自信になったと思われる。



受験票を手に試験会場を確認する学生たち

## 就職ガイダンスを実施 ～知らない自分を探してみよう～

医療  
事務

臨床  
工学

2月8日(月)に臨床工学学科2年生、3月15日(月)に医療事務学科1年生を対象に就職ガイダンスを行った。

国家資格キャリアコンサルタント2名の方に来校いただき、講師の方からは、これまでの自分の人生の中で、印象に残っている出来事、鮮明に覚えている言葉などを振り返りながら、それらが今の自分にどのような影響を与えているのかを考え、自分がこれまで気付くことが無かった価値観に触れ、視野を広げることの大切さが伝えられた。

ガイダンスを終えた学生からは「こんなに自分について考えたことがなかったので、貴重な経験になった」、「自分を客観視することは難しいと感じたが、新たな発見があった」などの感想が聞かれ、有意義な時間となった。



自分について考える貴重な機会となった

## 国家試験合格発表 臨床工学学科は5年連続全員合格!

臨床  
工学

介護  
福祉

3月26日(金)臨床工学技士及び介護福祉士の国家試験合格者発表が行われた。

臨床工学学科学生は自己採点で合格の手応えを得て、14時の発表時間を迎えたものの、改めて自身の受験番号が表示されると、3年間の努力が思い起こされ、喜びを分かち合った。そして、この結果、5年連続となる卒業生全員の国家試験合格を達成した。

一方で介護福祉学科では、惜しくも残念な結果となった学生が出た。ただ不合格となった場合も5年間は暫定的に国家資格登録者となり、その間に福祉施設で働きながら、5年間の実務経験、又は国家試験合格を経て、永続的な国家資格登録を目指すことが出来る。



合格を勝ち取り、喜びの表情で写真に納まる臨床工学学科の学生と教員

## 祝 国家試験合格! 喜びの声と今後の抱負

臨床  
工学

国家試験の結果発表直後に、4月から高松赤十字病院で勤務予定の宮崎 梨々華さん(香川県立高松商業高等学校出身)と屋島総合病院で勤務予定の筒井 ゆうさん(香川県立琴平高等学校出身)に今後の抱負を語ってもらった。



宮崎 梨々華さん(写真左) 高松赤十字病院で勤務予定

「国家試験合格に向けた勉強は大変でしたが、繰り返し過去問題を解くことで、自信がついて合格につながったと思います。就職後は幅広い業務を任せられる臨床工学技士になれるよう、これからも成長していきます」

筒井 ゆうさん(写真右) 屋島総合病院で勤務予定

「合格出来てホッとしています。4月からは、患者様のことを第一に考えて、少しでも安心していただける存在になれるよう、毎日コツコツと頑張っていきたいと思います」

## 今後の主な行事予定

- |    |        |                     |
|----|--------|---------------------|
| 4月 | 2日(金)  | 新入生・在校生ガイダンス        |
|    | 5日(月)  | 入学式                 |
|    | 6日(火)  | 前期授業開始              |
|    | 10日(土) | 健康診断                |
|    | 17日(土) | オープンキャンパス           |
|    | 25日(日) | オープンキャンパス           |
| 5月 | 15日(土) | オープンキャンパス(オンライン)    |
|    | 24日(月) | 介護実習Ⅲ開始(～6/14日)     |
|    | 21日(金) | 介護実習Ⅲ事前指導(介護福祉)     |
|    |        | 調剤事務管理士技能認定試験(医療事務) |
|    |        | 介護事務管理士技能認定試験(医療事務) |
|    | 23日(日) | オープンキャンパス           |
|    | 29日(土) | オープンキャンパス           |